

問 美里町役場の組織について

根本 孝代 議員

答 今までもも増して機動的な組織編成が必要（町長）

問 役場の組織については、町民のニーズや社会環境の変化に応じて、柔軟に見直しを進める必要があり、多様化する行政需要に対応するため、機動力のある効率的でわかりやすい組織づくりを推進すると行政改革大綱で述べています。

政運営の感覚とは違う役場組織について提案します。

政運営の感覚とは違う役場組織について提案します。人口規模が同程度の長野県小布施町の役場組織を見ると、5課に教育委員会事務局、議会事務局（監査委員事務局を含む）を加えて対応しています。具体的な事務分担を多くし、事務内容が町民に分かるようにしているのが特徴です。

美里町役場の課を減らして係を増やすという組織にすることについて、町長はどのように捉えているか伺います。

このような経緯を踏まえ、今回、課を減らして係を増やすといった、今までの行

町長 健康づくりや介護予防、定住促進、農業農村振興、スマートインターチェンジによる産業団地

健康づくりや介護予防、定住促進、農業農村振興、スマートインターチェンジによる産業団地

美里町集落内の道路整備計画等について

やまちづくりなど、今までに増して機動的な対応が必要であり、そのための組織にしなければと考えています。ご指摘の検討をしたいと思えます。

問 公共事業優先順位にかかる評価基準が策定され、対象となる事業に道路改良事業があります。これが集落内の道路に早期に適用されると、一部では幹線道路並みの幅広い道になると期待されますが、集落内の道路整備計画について伺います。

町長 要望路線の整備については、原則として緊急性・必要性・事業の実現性・整備の効果を定めた美里町公共事業優先順位評価基準の評価結果の高い箇所、国庫補助事業採択の可能性、また地域バランスを考慮しながら整備を進めます。

■その他の質問

美里町職員の災害時等緊急時の出勤時間、役割について



現在の役場庁舎内



役場では、毎月第2木曜日は19時15分まで窓口延長、第4日曜日の午前中は開庁しています。ぜひご利用ください。



櫻沢 保議員

問 サバイバルゲーム場の開設について

答 協定書の締結に向けて調整中です (町長)



問 (1) 事業者が猪俣地区内にサバイバルゲーム場を開設予定。それに伴い55台分の駐車場として、農地法第5条の農地転用許可を町・県に申請中。

(2) サバイバルゲームは一言でいえば「戦争ごっこ」。山林等で実物の銃に極めて似ているエアソフトガンで「銀玉鉄砲の兵隊さんごっこ」をスポーツにしたもの。

(3) 一方、町では、サバイバルゲーム場の開設に関する法的規制は特になく、駐車場に関して「農地転用許可」が必要だと説明。農業委員会の審議にお

いて、①山林等における防火予防での不備、②BB弾の安全対策・防護ネットの不備、③駐車台数が過大な見積もりではないかなどの懸念が噴出。また、地元説明会の未実施と駐車場の需要予測が不明であること等から、3年間の暫定的な期限付きの「一時転用駐車場」が相当として、県に書類を達しているとの伝聞。

(4) サバイバルゲーム場の開設に対して反対署名が数多く集められている模様。そのような中で、①許可申請書の現在の進捗状況

②町の対応窓口を明確にし、町と事業者の間で協定を結んで適切な運営が確保されるよう措置する必要性が高いと考えますが、対応方針等について答弁を求めます。

町長 現在、許可書は県の農林振興センターで審査中。また、本件に関する窓口を総務課とし、町と事業者との間で協定書の締結に向けて調整中です。

問 (1) 公共下水道事業のムダ・非効率性等について、これまで再三指摘。

① 公共下水道事業は、過去5年間・年平均約1億4800万円と多額の費用がかかっており、町の財政を圧迫。況は、事業開始から10年がたった平成27年3月末現在約4分の1のみ完了。また水管に接続している世帯は僅か26世帯。残り4分の3の整備完了までに今後30年以上かかる試算。

③ 非効率な事業計画を抜本的に見直し、予算を大幅に

削減し、そのお金を子供たちの未来のために使用するよう繰り返し要望してまいりました。

(2) これに対して、来年度の予算編成にあたり公共下水道事業に係る予算を一時凍結したいとしていることから、その趣旨等について答弁を求めます。

町長 平成28年度は、公共下水道事業の工事を一時中断し、今後の下水道整備方針・農業集落排水処理施設との統合の可能性・合併浄化槽の整備の進め方等を検討します。

問 マイナンバー制度について

原田 敏夫議員

答 全職員を対象に間違いが起きないように研修していきます (町長)



問 日本に住む人に割り当てる(マイナンバー)個人番号カード交付申請書の案内が、11月に各家庭に郵送され、平成28年1月からマイナンバーの利用がスタートしますが、この導入により、町民サービスはどのように向上するのでしょうか。住民・行政それぞれのメリットを伺います。

町長 マイナンバー制度は基本的に、社会保障・税・災害対策の3分野で活用するもので、税務署など国の機関や地方公共団体健康保険組合などの持っている情報が、同一人の情報であるかを確認するための社会基

盤となります。各種手続の際に求めた所得証明書等の添付書類の提出等を省略するなど、スムーズな申請が可能で住民サービスの向上につながります。

例えば、転職してもマイナンバーは変わらないため、年金給付期間の抜け落ち、脱税の防止につながり、公平・公正な社会の実現といったメリットが挙げられます。

問 個人情報外部に漏れることはないのか、不正利用被害が心配されるが、町長の見解をお聞かせください。

町長 住民情報のネットワークと各職員がふだん使っている、インターネットを使うパソコンとは回線が接続されていないため、情報が外部に流出する危険はありません。

また、マイナンバーに関する詐欺が後を絶ちません。正確な情報を提供するなど注意喚起を行い、被害の防止に努めていきます。

問 18歳選挙権について、平成28年度の夏に行われる参議院選挙から、満18歳・19歳の人が選挙権を得て投票できますが、選挙権行使できる人数について伺います。

町長 18歳・19歳で選挙権を行使できる人数は、平成27年12月現在で男性が108名、女性106名の合計214名になります。

問 制度の導入により、職員の研修はどのように行われているのか伺います。

町長 平成27年10月8日に全職員を対象に、制度の説明会及び情報セ



町長 平成27年10月8日に全職員を対象に、制度の説明会及び情報セ

町長 平成27年10月8日に全職員を対象に、制度の説明会及び情報セ

町長 平成27年10月8日に全職員を対象に、制度の説明会及び情報セ

町長 平成27年10月8日に全職員を対象に、制度の説明会及び情報セ

問

塩原 浩議員

空き家対策早期対応と 消防署との協力体制について

答 防災の観点からも重要、積極的に検討をしていきます(町長)



問 平成26年11月、議員立法として空き家等

対策の推進に関する特別措置法が国会で成立し、平成27年2月26日に全面施行されました。これにより特定空き家等に対しては、指導・勧告・命令が可能となり、さらに要件が明確化された行政代執行の方法による強制執行が可能になりました。

町長

現在、美里町には空き家に関する専門の相談窓口はありませんが、建設環境課を予定しています。

問

特定空き家に指定された場合、約4倍の税額となります。

町長

業者委託を今検討しているところですが、それに不足するものについては、区長さん等にも情報提供を行い、あわせて検討していきたいと思っています。

消防署への情報提供について

問

調査、指導に時間がかかりますと、住民

町長

個人情報保護に抵触しない範囲で、署との連携をスムーズにし、そういった危険が除去できるよりに対応をしていきたいと思っています。



平成25年の調査で埼玉県内の空き家は約36万戸。空き家率10.9%。10戸に1戸が空き家となる計算です。

問

清水 貞夫議員

町道管理清掃及び 安全管理について

答 膨大な管理費が発生し、予算が厳しい(町長)



問 町では年々高齢化が進み、荒れた農地が増えたために土側溝や道路蓋の上にまで泥が詰まり、その

上に草が生え、放置が長いところでは道路の半分ほど草で覆い被さり、いつ事故が起きてもおかしくない状態です。

町の対応について、平成27年の夏、町民から道路の清掃及び危険箇所について要請・要望を区長にお願いしましたが、状況は変わらず町民からの不満が募っていました。管理対応について、町の対応に問題があると思います。迅速な対応を求めますが、町長の見解をお尋ねします。

町道管理は町で行っていますが、草刈りや側溝清掃については町内全ての箇所を実施すると膨大な管理費が発生し、予算が厳しいことから地域の皆様が行っていただいております。また、草が覆い被る通行の支障等については、道路法43条

町長

町道管理は町で行っていますが、草刈りや側溝清掃については町内全ての箇所を実施すると膨大な管理費が発生し、予算が厳しいことから地域の皆様が行っていただいております。また、草が覆い被る通行の支障等については、道路法43条

問

予算がなく、できないのであれば、町民の方々にボランティアを協力してもらえないかと思いましたが、町の職員から誠意を見せていただかないと、なかなか町民も動きません。いつもパトロールをしている職員がそういったところを見ていますが、見て見ぬふりをしているような感じがします。

町長

役場職員よりシルバー人材センターにお願したほうが逆にいいと思います。ただ、そういった人件費も含めて相当のお金がかかりますので、できれば町民の皆さんに協力していただければと考えておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

できれば、草刈機やスコップを持ってやる姿を見せていただければ、町民も動くのではないかと思いますので、もう一度ご検討ください。



草が生い茂っている町道

5月と9月にクリーン美里が行われています。みなさんのご協力ありがとうございます。



問

田端恵美子議員

「コンビニ健診」で生活習慣病予防の推進を

答 個別健診と集団健診により受診率を向上させたい (町長)

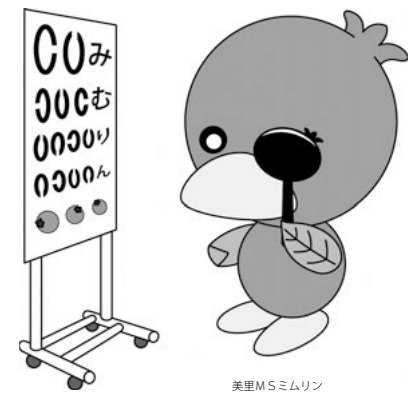
問 現在、幾つかの自治体で「コンビニエンスストア」と提携し、住民が近所のコンビニで買い物ついでに健康診断を受け、自分の健康状態を把握できるようにする取り組みが進められています。近年、糖尿病や高血圧症などの生活習慣病が増加傾向にある中、健康診断の重要性が改めて指摘されています。企業などに所属している人は、健康診断を受ける機会がありますが、個人事業主や専業主婦などは定期的な健康診断を受ける機会が少ないと言われており、近年特に、若い世代の専業主婦の健康診断受診率の低さなどが指摘さ

町長 町では、健康管理病気の早期発見のための特定健康診査を、平成27年は6月・7月に計11日間保健センターで実施をしました。対象者は、国民健康保険加入の40歳から74歳の方と、埼玉県後期高齢者医療保険加入の方に案内を送付し、実施したところです。定期的な健康診査や人間ドックの受診はとても重要であり、町でも受診していただけるよう広報

等々で推進をしているところで、団健診の併診により受診率を向上させたいと考えていますので、ご理解をお願いいたします。

ご質問の「コンビニ健診」については、受診率を上げる一つの方法と考えていますが、実施するには対象者をどうするのかが、また医師会等の協力を初め児玉郡内市町との連携もあり、財政面等での課題も多いと想定されます。町においては、今年度から個別健診の取り組みを始めます。この個別健診は、国保や後期高齢者医療保険加入者の方で、6月・7月に実施した特定健康診査の未受診者を対象に案内通知を発送し、健診を受けていただく予定です。

当面は、この個別健診と集



町では「たべる」「うごく」「きづく」をモットーに、自分の「健幸」を守る活動を推進しています。

問

内田 三郎議員

本庄・バス路線の運行の充実について

答 関係市町と協議し、でき得る対応をとりたい (町長)

問 本庄・寄居バス路線の運行には補助金を出していますが、朝は遅く夕方早く運行が終わり、利用者は不便と感じています。運行経路の中では、美里町部分が一番利用価値が高いことから、運行時間の延長はできないのか伺います。

町長 平成8年度から県北都市間路線バス維持対策協議会を発足させ、民間バス会社の撤退とならないように働きかけを行っています。現在では、赤字経費を各市町で負担し、沿線市町(寄居町、美里町、本庄市)の赤字補填は1440万円と多額の費用を要しています。

町長

平成8年度から県北都市間路線バス維持対策協議会を発足させ、民間バス会社の撤退とならないように働きかけを行っています。現在では、赤字経費を各市町で負担し、沿線市町(寄居町、美里町、本庄市)の赤字補填は1440万円と多額の費用を要しています。

この路線バスは、沿線市町の負担による運行となっており、このことから、関係市町と協議し、運行事業者と調整が行えるか研究する必要があると思えますので、ご理解をお願いいたします。

問 バス利用者は、主に車を使用できない人

町長

現在、本庄駅南口



が多いと思いますが、もう少し負担してもよいのではないですか。車が通る道路は、多くの費用をかけて拡幅及び新設を行っていることから、車を使用しない人にも費用を出すべきではないでしょうか。

また、公共交通(タクシー)の補助金は、特定の方に偏っていると思われるため、公の交通機関が便利になるような考えはありませんか。

バス利用者は、運行者中心になっていないと思います。利用者中心にしたいと考えています。運行計画の中で考えていただきたいと思いますが、いかがですか。

町長

納得いただく運行形態をとることが町単独では難しいため、協議会の中ででき得る対応をとっていきます。



ミムリンはバスに乗ったことないから乗ってみたい。でも、ドアに挟まれて乗れないかも？

